

《公立公的病院等再編・統合阻止》

2020年11月1日

424 愛知共同行動 通信

NO. 81

発行：「424 愛知共同行動」事務局 愛知社保協地域医療委員会
(文責：長尾-☎052-871-7856)

《地域医療情報NO59》速報

☆10/29 「**地域医療構想**」の「**国と地方の協議の場**」再開
= 第5回—**全国知事会との協議**(厚労副大臣・総務副大臣参加)—
議題「**新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域医療構想の考え方について**」

鳥取県知事 『**凍結・見直し**』 を求める！

「**今は、コロナ対策に専念・集中すべき（時）**」 (新聞報道)

～議事録は、後日公開されますが、一部マスコミ報道では、国側からの説明に対し、全国知事会からはコロナ対策最優先の発言がされたもようです！約8か月ぶりに再開された「国と地方の協議の場」でも、国の「地域医療構想WG」等で議論が始まった地域医療構想に感染症対策を加味した修正を行おうという観点で、以下の議論と資料が提出されました。これに対し、**全国知事会は「凍結・見直し」を強く主張した**と言う事です！この先、冬場のインフルエンザと新型コロナウイルスのダブル感染症にどの様に対峙していくかが重要な時に、国側は、引き続き「地域医療構想」をベースに地域医療構想の実現に向けた検討・協議を再開するというスタンスです。現場の最前線で奮闘している地方と、データを指標とした判断に固執する国の、あくまでも計画を達成するために、どの様に計画を部分修正するか？というスタンスとは、大きく認識にズレが生じています！しかし、その一方で今年度の「医療介護総合確保基金」の第一次分内示や、8月には第2次「重点支援地域」を指定するなど着々と地域医療構想実現に向けた対応を進めています。

平時の入院医療体制を想定した「地域医療構想」に関し、新興・再興感染症対応の内容を踏まえつつ、今後の取組についてどのように考えるか。

1. 感染拡大時の受入体制確保についてどのように考えるか
2. 公立・公的医療機関等に対する「具体的対応方針の再検証」などの取組にどのような影響があるか
3. 今後の人口構造の変化を踏まえ、どのような工程で議論・取組を進めていくか